

SR-01 機能拡張の利用方法

【注意事項】操作を行う前に必ずお読み下さい。

この機能拡張マニュアル（以下本マニュアル）を使用してSR-01の機能拡張操作を行う前に必ずご確認ください。

本書の機能拡張は、弊社の取扱説明書や配布のカタログには記載されておらず、公式の仕様・スペックの範囲外となっております。

またあらゆる場合について十分な検証が行われたものではありません。

したがって本書記載の操作方法に関して、サポート等の提供はありません。

また問い合わせについても回答が出来ません。

万が一本書の設定を行ったことでSR-01の動作に不具合が発生した場合や、操作方法が分からなくなった場合は、リセット操作が唯一の対策、及び現状回復の方法となります。その他に本マニュアルを利用して、何等かの不利益を被ったとしても弊社は一切の責任を負いかねます。

本マニュアルに記載の内容を利用してSR-01の機能拡張操作を行った場合は、以上に同意いただいたものと致します。

【ご利用方法について】

拡張機能は3種類あります。

機能1 ローテーションワッチ機能

機能2 MIDフィルタの入れ替え

機能3 受信中Sメータの振れ幅拡大

設定手順 上記の機能1～3を使えるようにするには下記の設定を行います。

<拡張機能を使えるようにする初期設定>

- ①POWERスイッチをOFFにする。
- ②RX FILスイッチをNAR側、ATTスイッチをON側にする。
- ③CHECKボタンとPTTスイッチをしっかりと確実に押したまま、POWERスイッチをONにする。
 - * 機能拡張設定モードに入った時は、7セグメントLEDの数字は表示されません。
 - * またこの時すぐには送受信は出来ません。
- ④一旦電源をOFFにして、再度電源をONにします。
- ⑤機能1～3の有効、無効を設定する。

チャンネルスイッチを設定したい機能の番号にあわせてチェックボタンを押すとその設定番号の機能有効、無効を切り替えることができます。無効の時は7セグメントLEDに<d> (disable) 有効の時は<E> (enable)が表示されます。

機能1 ローテーションワッチ機能の操作方法

＜操作方法＞ 受信状態で CHECK ボタンを押しながら、チャンネルスイッチを1チャンネル上げるか下げる。すると、回した方向に1.5秒間隔で自動的にチャンネルがローテーションします。

この動作はPTTスイッチを押すか、手動でチャンネルスイッチを切り替えるまで続きます。

＜注意＞

PTTスイッチが押された時は現在受信中のチャンネルで即座にローテーションがとまります。そのためチャンネルスイッチのダイヤルと7セグメントLEDの表示が異なる場合があります。

この時は7セグメントLEDの表示が正しい表示です。

ローテーションが止まってから再び手動でチャンネルスイッチを操作するとダイヤル位置と7セグメントLEDは一致します。

機能2 MIDフィルタの入れ替え

この機能が有効になっていると、RX FILTスイッチがMIDポジションになっている時の受信フィルタが、帯域幅2.0kHzの急激なカットオフ特性から、2.5kHzの緩やかなロールオフ特性に切り替わります。

機能3 受信中Sメータの振れ幅拡大

この設定を有効にしておくと、受信時のSメータ振れが通常よりも約+20dB大きくなります。

【重要】SR-01の拡張機能設定リセットの方法

本書に記載の機能拡張の操作を行って、万が一、不具合や予期せぬ動作が発生したり、または元に戻す方法が分からなくなった場合には、このリセット操作を行って下さい。

以下のリセット操作を行うと、本書＜機能拡張マニュアル＞で設定した内容は全て無効化され、SR-01の設定は全て工場出荷時の状態になります。

- ① POWERスイッチをOFFする。
- ② CHECKボタンを確実に押し、押したままPOWERスイッチをONにする。
- ③ CHECKボタンを離す。

スピーカ（またはヘッドホン）から・・・（欧文モールのR）のトーンが聞こえた時点で、リセットは完了します。